

## ブラジル・ウィークリー

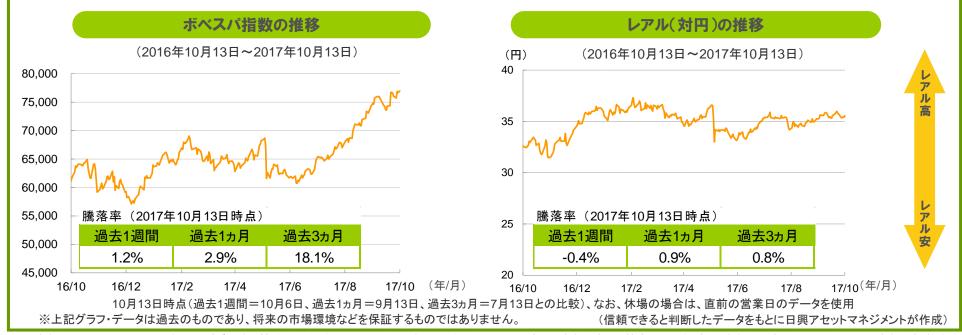
2017年10月16日発行号 作成: 日興アセットマネジメント



先週の ブラジル株式市場 の動き (10月9日~10月13日) ブラジル株式市場は、ボベスパ指数で前週末比+1.2%となり、週間ベースで2週連続の上昇となりました。

9日(月)は、米国・トルコ間でビザ発給業務が相互に停止されたことを受けて、両国の関係悪化に対する懸念が強まり、新興国市場全体にリスクオフの姿勢が拡がり、下落しました。10日(火)は、原油価格の上昇や、下院の司法委員会で、検察当局のテメル大統領に対する訴追手続きには国内法の裏付けがないとの報告がされたことなどが好感され、ボベスパ指数は前日比+1.5%と週の中で最も大きく上昇しました。11日(水)は、小売売上高が市場予想に反して減少したことや、年金改革法案の承認プロセスに進展がみられないことなどが嫌気され、反落しました。13日(金)は、商品価格の上昇や、主要貿易相手国である中国の9月の貿易統計で、輸出・輸入ともに伸びが加速したことなどが好感され、反発しました。

なお、12日(木)は、聖母の日の祝日のため、休場でした。



■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。